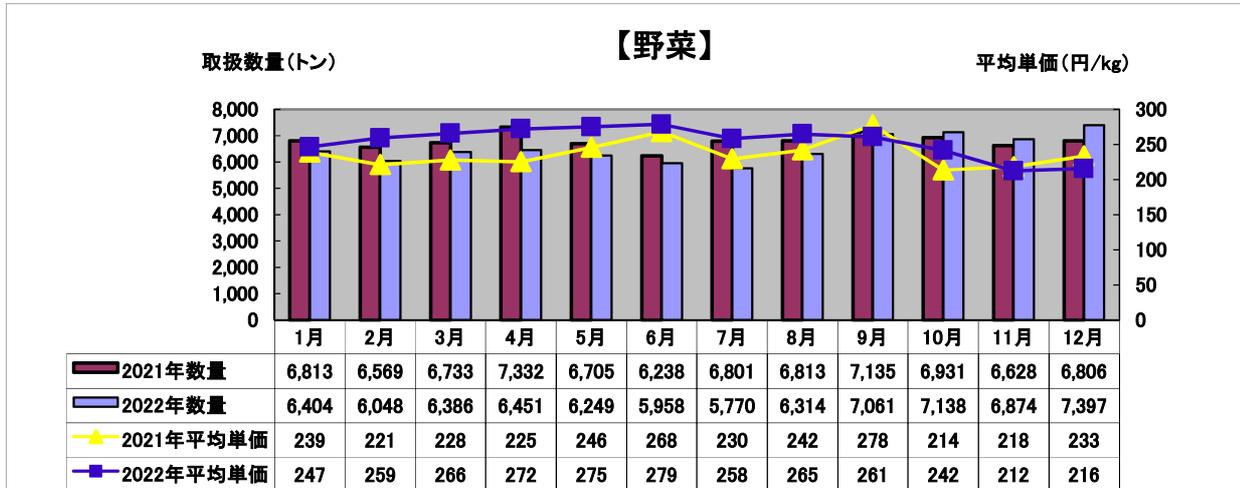
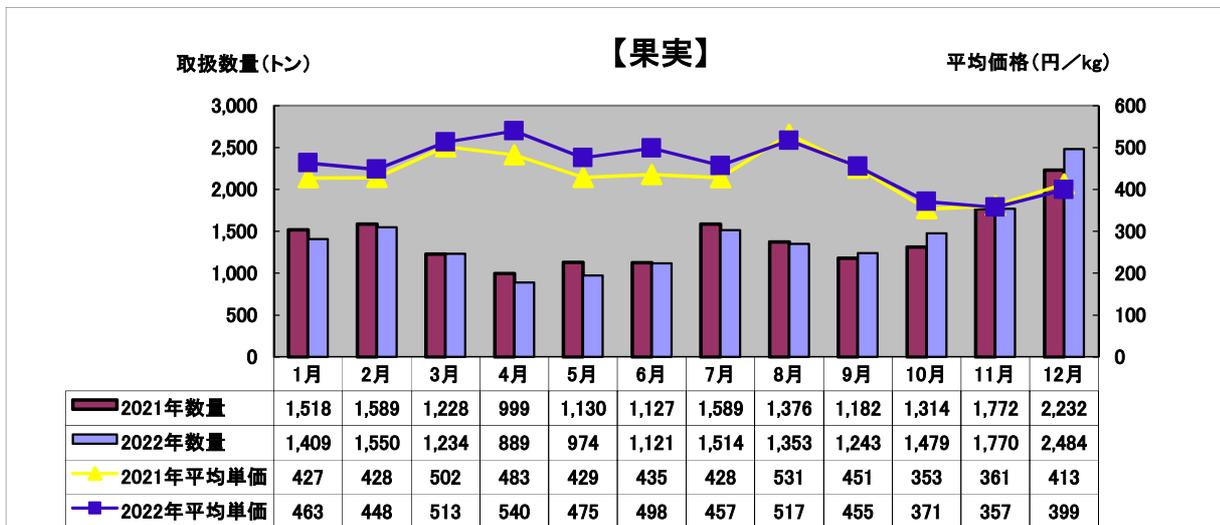


令和4年(2022年)12月 青果部 種類別市況



12月の野菜類は、食料品の値上げが続き、野菜の需要にも陰りが見え始めた月となりました。高単価が期待された洋菜やトマト類、昨年高単価だったじゃがいも、玉ねぎは価格が伸びず、順調な入荷のあった露地系のおかげもあり数量はやや増加したものの、平均単価についてはやや安く推移しました。

前年比数量 109%、単価 92%で終了しました。



12月の果実類は、りんごの入荷が近年にはないほど順調で、数量は増加しました。平均単価については、やや安く推移しました。

前年比数量 111%、単価 97%で終了しました。